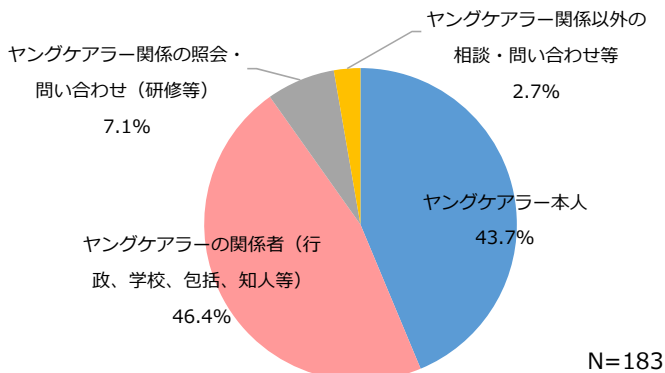


兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー 相談窓口の状況について

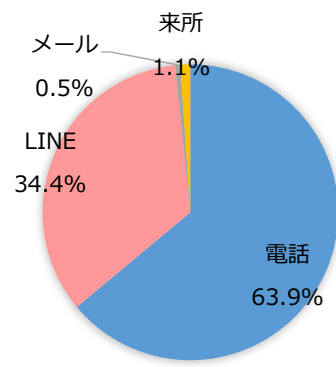
兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口の状況について①

- ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口に寄せられた相談内容をもとに相談状況等を分析
- 令和4年6月の相談窓口の開設後、令和5年1月末時点で延べ183件の相談が寄せられている。相談手段としては、電話が6割以上、LINEが3割程度であり、メールの相談は少ない。
- 月別の平均相談件数は、20件程度であるが、配食事業をスタートした10月は一時的に問い合わせが多くなっている。

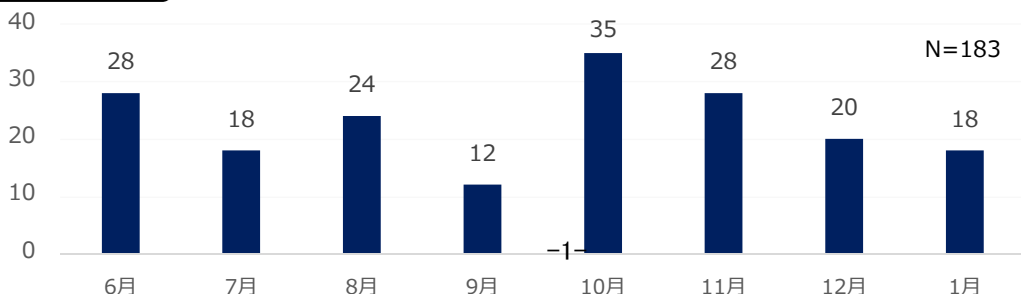
1 相談者内訳 (延数)



2 相談手段 (延数)



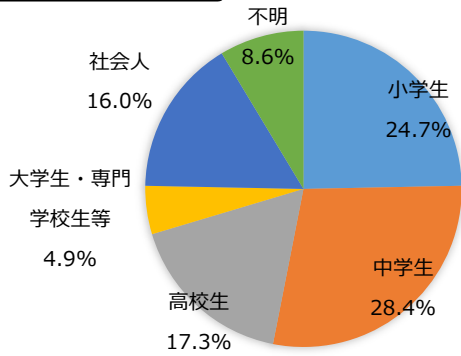
3 月別相談件数 (延数)



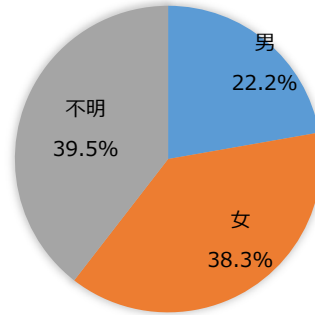
兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口の状況について②

- 相談対象となるヤングケアラー・若者ケアラーの年代については、中学生が最も多く、次いで小学生、高校生の順になっている。また、性別では、女性の方が多くなっている。
- 相談者の属性は、本人、教職員等、行政機関が多くなっている。

4 年代（実数）



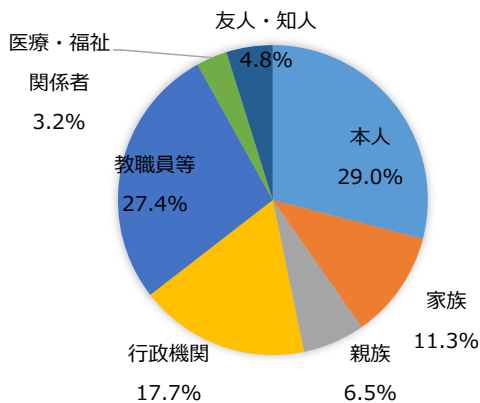
5 性別（実数）



N=81

N=81

6 相談者の属性（実数）



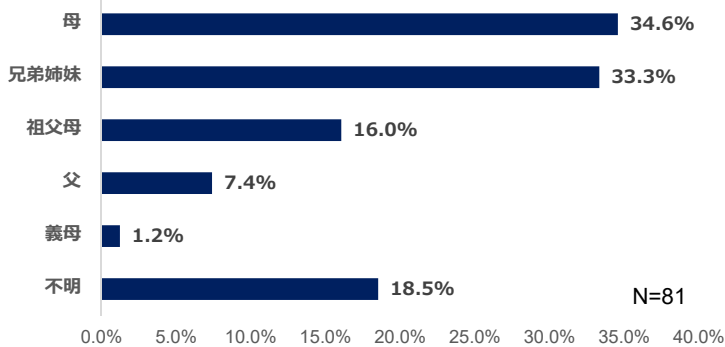
N=62

相談者	人数
本人	18
家族	7
親族	4
行政機関	11
教職員等	17
医療・福祉関係者	2
友人・知人	3

兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口の状況について③

- ケアの相手については、母が最も多く、次いで兄弟姉妹、祖父母の順になっている。
- また、ケアの内容については、家の中の家事が最も多く、次いで兄弟の世話、介護などの身の回りのケアの順になっている。

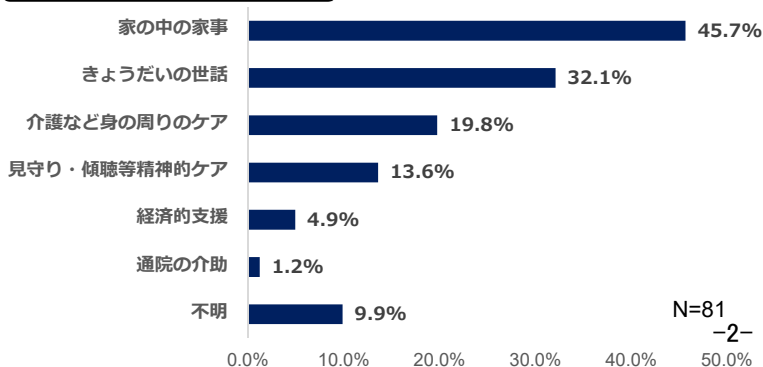
7 ケアの相手（複数）



N=81

項目	人数
母	28
兄弟姉妹	27
祖父母	13
父	6
義母	1
不明	15

8 ケアの内容（複数）



N=81

-2-

項目	人数
家の中の家事	37
きょうだいの世話	26
介護など身の回りのケア	17
見守り・傾聴等精神的ケア	11
経済的支援	4
通院の介助	1
不明	8

9 本人への主な影響

- 自己肯定感低下
- 情緒不安定（怒る、泣く）
- 負担感、保健室登校、情緒不安定（泣く、自暴自棄な態度）
- 負担感、友人との遊びの約束を断る
- 負担感、生活、食習慣の乱れ
- 複合的な問題に伴う混乱、不安（家族、自身の将来）
- 遅刻気味、食事抜き、空腹
- 家族のために頑張ると話すが、イライラしてしまう
- 大学卒業後、介護のため就職できず。支援を求める
- 疲労、離職、うつ
- 世話のため学校を休みがち